

プログラム

<1日目> 10月11日(土)

第1会場(2F 天空)

一般演題 1 「1型糖尿病の病態」

9:00 ~ 10:00

座長：今川 彰久(大阪医科薬科大学 内科学1)

福井 智康(せいの内科クリニック/昭和医科大学)

演者：O1-1 中西 俊平(埼玉医科大学 内分泌内科・糖尿病内科)

「Ketosis-prone type 2 diabetes のセロトニン代謝と複数の細胞性免疫指標との検討」

O1-2 西影 星二(神戸大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌内科学部門)

「J-DREAMSを活用した1型糖尿病における20歳時肥満とその後の肥満状態の変化が血管合併症に与える影響の検討」

O1-3 永淵 正法(佐賀大学医学部 肝臓・糖尿病・内分泌内科)

「 β 細胞特異的ウイルス受容体陽性Stat2欠損マウスを用いたコクサッキーBウイルスによる糖尿病発症機構の解明」

O1-4 能宗 伸輔(近畿大学医学部 内分泌・代謝・糖尿病内科)

「劇症1型糖尿病の全ゲノム関連解析により同定したSuggestive SNPsの病型別検証」

O1-5 高田 康徳(愛媛大学医学部糖尿病内科学)

「免疫複合体転移酵素免疫検出法による高感度GADA、IA-2A、IAA同時測定は1型糖尿病の診断精度を向上させる」

シンポジウム 1 「医療イノベーションの最前線」

10:10 ~ 11:40

座長：曾根 博仁(新潟大学大学院医歯学総合研究科、新潟大学ビッグデータ・アクティベーションセンター、新潟大学健康教育イノベーションセンター 血液・内分泌・代謝内科学分野)

梶尾 裕(国立国際医療センター糖尿病内分泌代謝科)

演者：鈴木 晋(株式会社 CureApp)

「すでに5年目!? 治療アプリの現在地と未来」

松田 祐太(T1D Scout, Inc.)

「米国の糖尿病領域におけるスタートアップエコシステムと社会実装」

小林 司(富士通株式会社 エンタープライズ事業 ゼネラルビジネス事業本部 ソリューションアーキテクト統括部)

「医療資源最適化に向けた遠隔支援 AIの可能性～技術検証から見たローカル LLM～」

総会

11:50 ~ 12:20

ランチョンセミナー 1

12:40 ~ 13:30

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

座長：安西 慶三（医療法人社団 高邦会 高木病院 副院長 / 糖尿病内分泌肝疾患センター長）

演者：西村 理明（東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科主任教授）

「インスリン治療のパラダイムシフト：週1回 Basal インスリンが切り拓く新たな糖尿病治療戦略」

YIA 選定演題 1

13:40 ~ 14:40

座長：中條 大輔（国際医療福祉大学市川病院 糖尿病・代謝・内分泌内科）

小谷 紀子（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 糖尿病内分泌代謝科）

演者：YIA1-1 森田 英生（小川赤十字病院）

「1 型糖尿病における Hybrid Treg の意義 ～抗原特異性を含めて～」

YIA1-2 山田 紗綾（国立病院機構大阪医療センター 糖尿病・内分泌内科）

「1 型糖尿病における重症低血糖の予測に対する無自覚性低血糖の判定法の比較：PR-IAH 研究」

YIA1-3 清水 順也（北里大学大学院医療系研究科）

「Minimed 640G, 770G, 780G を導入した際の 1 型糖尿病患者の治療満足度の変化」

YIA1-4 藤澤 征志（埼玉医科大学 内分泌内科・糖尿病内科）

「1 型糖尿病における Hybrid Insulin Peptide(HIP) の免疫学的な意義について」

YIA1-5 里村 敦（埼玉医科大学 内分泌内科・糖尿病内科）

「Ketosis-prone type 2 diabetes の病態における融合インスリンペプチドの役割の解明」

YIA 選定演題 2

14:50 ~ 15:50

座長：利根 淳仁（岡山済生会総合病院 内科・糖尿病センター）

能宗 伸輔（近畿大学医学部 内分泌・代謝・糖尿病内科）

演者：YIA2-1 芳村 魁（神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科）

「インスリンポンプカニュレの使用期間が血糖マネジメントに及ぼす影響～プログラムの手法による検討～」

YIA2-2 久保田 諭史（信州大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌代謝内科）

「日本人成人 1 型糖尿病に対する AHCL の有効性と心理的影響に関する検討」

YIA2-3 永田 知裕（東京都立小児総合医療センター 内分泌・代謝科）

「小児 1 型糖尿病に対する advanced hybrid closed loop 導入と BMI-SDS の関連」

YIA2-4 勝田 芳樹（神奈川県厚生連伊勢原協同病院 内分泌・糖尿病内科）

「高用量インスリンを要していた 1 型糖尿病患者に AID 療法を導入し、1 日総インスリン量が著減した一例」

YIA2-5 齋藤 修一郎（神戸大学大学院医学研究科内科学講座 糖尿病・内分泌内科学部門）

「自動停止・AID 機能の導入による 1 型糖尿病患者における 5 年間の治療効果の検討」

特別講演

16:00～17:00

共催：アボットジャパン合同会社

座長：豊田 雅夫（東海大学 医学部内科学系 腎内分泌代謝内科）

演者：坂根 直樹（NHO 京都医療センター臨床研究センター予防医学研究室）

「AI 時代における先進糖尿病デバイスとデジタルツインを活用した個別化医療」

会長・当番世話人特別企画

17:10～18:10

共催：デクスコジャパン合同会社

座長：大杉 満（国立健康危機管理研究機構 糖尿病情報センター）

演者：Jessica Castle（Vice President, Medical Affairs Dexcom）

「Continuous Glucose Monitoring in 2025: Moving Beyond Type 1 Diabetes」

————— 第 2 会場（2F 琥珀） —————

一般演題 2 「心理社会的支援」

9:00～10:00

座長：大久保佳昭（東京歯科大学市川総合病院内科 糖尿病・内分泌センター）

村田 敬（東海大学医学部附属八王子病院腎内分泌代謝内科）

演者：O2-1 丸本 紗羽（元神戸大学医学部保健学科看護学専攻）

「糖尿病患者の皮下血糖測定器装着による生活への影響」

O2-2 林 哲範（北里大学看護学部）

「AHCL 導入により患者の心理社会面を再考した 1 型糖尿病の 2 症例」

O2-3 山本 あかね（神戸大学大学院医学研究科内科学講座糖尿病・内分泌内科学部門）

「2 型糖尿病における HbA1c 別にみた SU 薬治療と基礎インスリン療法の低血糖リスクの比較」

O2-4 近藤 真澄（東海大学医学部附属八王子病院 腎内分泌代謝内科）

「CGM 導入を契機に治療拒否から行動変容へ至った 2 症例」

O2-5 伊藤 新（医療法人明医研ハーモニークリニック）

「認知症を伴う新規発症 1 型糖尿病高齢者を支える在宅医療の構築」

シンポジウム 2 「CLINICAL GEMS ～臨床における珠玉の知恵～」

10:10～11:40

座長：加藤 研（国立病院機構大阪医療センター 糖尿病・内分泌内科）

中山 ひとみ（久留米大学 / 朝倉医師会病院 糖尿病内分泌内科）

演者：林 哲範（北里大学 看護学部基礎看護学）

「糖代謝異常合併妊婦における先進糖尿病デバイスの活用」

柚山 賀彦（大阪公立大学大学院医学研究科 発達小児医学）

「～最前線×小児の交わり～テクノロジーを“活きた”形にするための架け橋」

阿部 雅紀（日本大学医学部 内科学系腎臓高血圧内分泌内科学分野）

「血液透析患者の血糖乱高下 ～透析患者の糖尿病治療ガイド 2025 から～」

小倉 雅仁（国立病院機構京都医療センター 糖尿病内科）

「周術期の血糖管理」

ランチョンセミナー 2

12:40 ~ 13:30

共催：デクスコムジャパン合同会社

座長：及川 洋一（埼玉医科大学 内分泌・糖尿病内科）

演者：村田 敬（東海大学医学部附属八王子病院腎内分泌代謝内科）

「すべての糖尿病患者さんに CGM の恩恵を」

一般演題 3 「先進機器」

13:40 ~ 14:40

座長：鈴木 潤一（日本大学医学部 小児科学系小児科学分野）

池田 富貴（順天堂大学大学院 代謝内分泌内科学）

演者：O3-1 小林 基子（神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科）

「AID 療法継続のまま施設入所が可能であった高齢 1 型糖尿病患者の二例」

O3-2 田所 克（北里大学病院糖尿病・内分泌代謝内科）

「1 型糖尿病患者における Minimed 780G の有効性の検討」

O3-3 曾我部 春菜（北里大学医学部 糖尿病・内分泌代謝内科学）

「妊娠中・分娩時を通じて AHCL を使用した 1 型糖尿病合併妊婦 2 症例の CGM metrics および分娩経過」

O3-4 西山 邦幸（小田原市立病院 小児科）

「小田原市立病院小児科に通院中で SAP 療法を導入している 3 症例からみた AHCL の優位性に関する検討」

O3-5 今井 ゆき子（浜松医科大学医学部附属病院 内分泌・代謝内科）

「AHCL(Advanced Hybrid Closed Loop) 管理中にステロイド投与と帝王切開を施行された 1 型糖尿病合併妊娠の一例」

一般演題 4 「1 型糖尿病・その他」

14:50 ~ 15:50

座長：永田 正男（ふくやま・すこやかクリニック 内科）

小川 洋平（新潟大学医歯学総合病院 小児科）

演者：O4-1 羽井佐 彬文（埼玉医科大学内分泌内科・糖尿病内科）

「緩徐進行 1 型糖尿病における EIA 法 GAD 抗体の意義～縦断的検討も含めた考察～」

O4-2 宮崎 裕也（神戸大学医学部附属病院）

「アルギニン刺激後グルカゴン分泌を通じた 1 型糖尿病と免疫チェックポイント阻害薬関連糖尿病の病態比較」

O4-3 北澤 勝（新潟大学大学院医歯学総合研究科血液・内分泌・代謝内科学分野）

「スマホアプリを用いた利用者及び医療者の負担を最小限とする写真撮影を含む食事記録方法の精度の検討」

O4-4 Kim-JiEun (Konyang University)

「Effect Of App-Based Diabetes Diary Program in Youths with Type 1 Diabetes」

座長：田久保 憲行（順天堂大学医学部 小児科学講座）

山本 幸代（産業医科大学医学部 医学教育担当教員）

演者：武者 育麻（埼玉医科大学病院 小児科）

「小児糖尿病における血糖管理指標とその課題」

高谷 具純（獨協医大埼玉医療センター 小児科）

「小児 1 型糖尿病におけるインスリンポンプ療法の年齢別特徴と長期管理」

松井 克之（滋賀県立総合病院 小児内分泌代謝糖尿病科）

「1 型糖尿病をもつ子どもの療養行動と QOL」

松浦 信夫（市立美唄病院小児科・北海道大学大学院医学研究院）

「北海道における 15 歳未満発症小児 1 型糖尿病児の長期予後調査

-1959 年から 1996 年発症児 521 例の解析」

メディカルスタッフ賞受賞セッション

17:10～18:10

座長：及川 洋一（埼玉医科大学 内分泌内科・糖尿病内科）

菊池 信行（横浜労災病院 小児科）

演者：M-1 本田 寛人（四條畷学園大学リハビリテーション学部）

「成人 1 型糖尿病患者における座位行動はリアルタイムおよび長期的な血糖マネジメントに関連するか？」

M-2 関口 男（医療法人南昌江内科クリニック）

「1 型糖尿病患者における isCGM から同精度・同規格の rtCGM への切替後 3/6/12 ヶ月時点の血糖管理指標の比較検討」

M-3 高田 綾子（神戸大学医学部附属病院）

「Hybrid Closed Loop 療法中の 1 型糖尿病患者の年代別の必要な支援 ～テキストマイニングによる検討～」

M-4 松田 季代子（神戸大学医学部附属病院 看護部）

「高齢で AID 療法を導入し、外来チーム医療により継続使用につながった 1 型糖尿病の一例」

M-5 鳥本 清美（医療法人社団誠知会誠知クリニック）

「血糖管理の「見える化」とチーム医療により奏功した透析患者の一例 ～先進デバイス活用の意義と可能性～」

———— ハンズオンセミナー会場（1F 珠玉） ————

ハンズオンセミナー

9 : 00 ~ 10 : 00

共催：テルモ株式会社

「テルモ パッチ式インスリンポンプハンズオンセミナー」

ハンズオンセミナー

14 : 30 ~ 15 : 30

共催：日本メドトロニック株式会社

「ミニメドTM780G システムハンズオンセッション：実践！ケアリンクTM レポート読み解きワークショップ」

< 2 日目 > 10 月 12 日 (日)

——— 第 1 会場 (2F 天空) ———

共催セミナー 1

8 : 40 ~ 9 : 30

共催：日本イーライリリー株式会社

座長：利根 淳仁（岡山済生会総合病院 内科・糖尿病センター）

演者：廣田 勇士（神戸大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌内科学部門）

「1 型糖尿病治療 Update ～デバイス、インスリンの進歩～」

教育講演

9 : 40 ~ 10 : 30

共催：サノフィ株式会社

座長：島田 朗（埼玉医科大学 内分泌・糖尿病内科）

演者：菊池 透（埼玉医科大学 小児科）

「1 型糖尿病のスクリーニングと予防」

合同シンポジウム

10 : 40 ~ 12 : 10

共催：アボットジャパン合同会社/日本メドトロニック株式会社

「インスリンポンプと CGM の最新情報」

座長：黒田 暁生（徳島大学先端酵素学研究所 糖尿病臨床・研究開発センター）

広瀬 正和（D Medical Clinic Osaka 小児科）

演者：三浦 順之助（東京女子医科大学 内科学講座糖尿病・代謝内科学分野）

「日本におけるインスリンポンプ療法の実態調査」

演者：目黒 周（慶應義塾大学医学部 腎臓内分泌代謝内科 / 慶應義塾大学病院 糖尿病先制医療センター）

「Continuous Glucose Monitoring のエビデンスと実際（インスリンポンプ以外）」

演者：Goran Petrovski (Medtronic Diabetes)

「Simplifying Carb Counting

ミニメドTM780G システムによる、よりフレキシブルな食事ボーラスの可能性」

ランチョンセミナー 3

12 : 30 ~ 13 : 20

共催：サノフィ株式会社

座長：松久 宗英（徳島大学 先端酵素学研究所 糖尿病臨床・研究開発センターセンター長・教授）

演者：小谷 紀子（国立国際医療センター 糖尿病内分泌代謝科）

「1 型糖尿病の新しいステージに向けて」

第1部「“守る”と“治す”をめざして ―新たな1型糖尿病医療に挑む―」

座長：豊田 雅夫（東海大学 医学部内科学系 腎内分泌代謝内科）

菊池 透（埼玉医科大学病院 小児科）

演者：中條 大輔（国際医療福祉大学市川病院 糖尿病・代謝・内分泌内科）

第2部「“正解”はひとつじゃない ―多様な糖尿病との共生―」

司会：大村 詠一（DicHub）

岡田 果純（DicHub）

土岡 由季（DicHub）

アドバイザー：豊田 雅夫（東海大学 医学部内科学系 腎内分泌代謝内科）

菊池 透（埼玉医科大学病院 小児科）

演者：糖尿病当事者2名

第2会場（2F 琥珀）

シンポジウム4「セルフケアを支える多職種アプローチ」

9:40～10:40

座長：木村 守次（東海大学医学部 腎内分泌代謝内科）

阿比留 教生（医療法人緑風会 みどりクリニック 糖尿病科）

演者：岡田 浩（京都大学大学院 医学研究科社会健康医学系専攻予防医療学分野）

「薬局における糖尿病療養支援の可能性：COMPASS 研究結果から」

高松 千織（そのだ内科 糖尿病・甲状腺クリニック 看護部）

「みんなで支えるから続けられる糖尿病ケア」

大野 宏枝（国立病院機構大阪医療センター 栄養管理室）

「先進糖尿病テクノロジーにおけるカーボカウントの有用性と課題」

天川 淑宏（東京医科大学八王子医療センター 糖尿病・内分泌・代謝内科）

「1型糖尿病運動療法の変遷と包括的治療指針：CGM/isCGM 技術による革新」

一般演題5「1型糖尿病2」

11:10～12:10

座長：森 良孝（伊勢原協同病院 内分泌糖尿病科）

伊藤 新（医療法人明医研 ハーモニークリニック 内科）

演者：O5-1 村田 敬（国立病院機構京都医療センター臨床栄養科・糖尿病内科）

「点滴用アセトアミノフェンにより CGM のセンサーグルコース値と実測血糖値が大きく乖離した症例」

O5-2 小池 真由美（八王子糖尿病内科クリニック）

「高次脳機能障害合併1型糖尿病に AHCL を導入し在宅医療と連携し良好な血糖管理が可能になった一例」

O5-3 澤木 秀明（澤木内科・糖尿病クリニック）

「死亡原因を特定できなかった青年期 1 型糖尿病患者の 1 例」

O5-4 小林 正稔（諏訪赤十字病院 糖尿病・内分泌内科）

「抗てんかん薬治療に難渋し、抗 GAD 抗体関連脳症の診断下にステロイド治療が奏功した緩徐進行 1 型糖尿病の一例」

O5-5 大江 晃央（神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科）

「急性期に Automated Insulin Delivery（AID）療法を併用して治療した 1 型糖尿病の 3 症例」

ランチョンセミナー 4

12:30～13:20

共催：株式会社コスミックコーポレーション

座長：川村 智行（あべのメディカルクリニック）

演者：志賀 健太郎（横浜市立大学附属市民総合医療センター 小児総合医療センター）

「自己抗体を考える」